

令和元年度 学校自己評価アンケートのまとめ

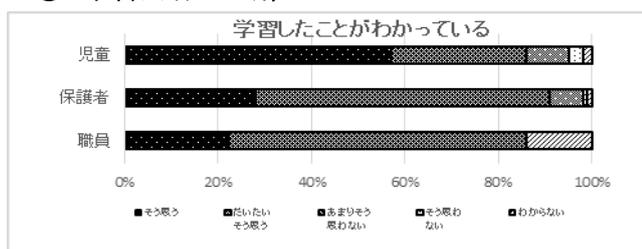
千曲市立更級小学校

平素より本校の教育にご理解ご協力いただき、ありがとうございます。

本年度実施させていただいた学校自己評価アンケートについて、まとめをいたしました。本年度の成果と課題を明確にし、来年度の指導にいかしていきたいと考えております。ご覧いただき、ますますのご支援をよろしくお願いいたします。

1 学習の取り組みについて

① 学習内容の理解について

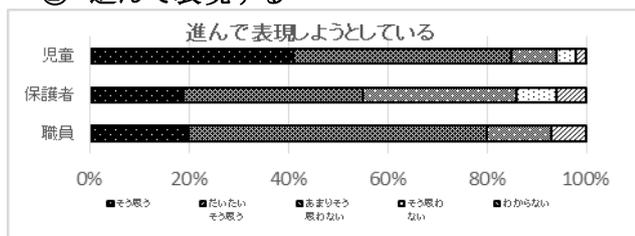


児童、保護者、職員の80%以上が、「学習したことがわかっている」と回答しています。本年度、「学習課題を明確にする」「一人一人に合わせた支援をする」ことなどを中心に授業改善を行ってきました。また、授業、チャレンジタイム、家庭学習のつながりを大切に、授業で理解が不十分な内容の確認や家庭学習の振り返り等をチャレンジタイムで行い、学習内容の定着をはかってきました。

しかし、まだ「学習したことが分かっていない」と回答している保護者がいます。昨年よりも減りましたが、児童一人一人の実態をつかみ進度を工夫したり、授業改善を進めてきたりした結果を、家庭ではまだ感じられていない面があります。

学校では、今後も、全国学力・学習状況調査やNRT、単元テストなどの結果の分析、日頃の授業の姿から、「読む、書く、話す、聞く」などの学習活動に効果的に取り組めるよう工夫し、児童の基礎的・基本的な内容が確実に身につくように、授業改善を進めてまいります。

② 進んで表現する

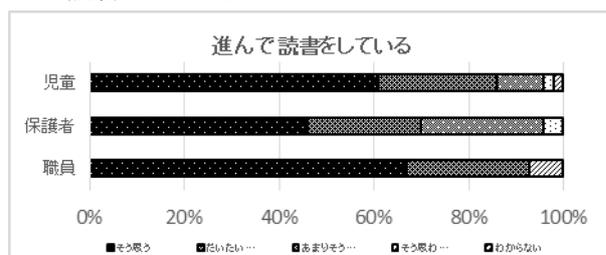


児童、職員の80%以上が「進んで表現しようとしている」と回答したのに対し、保護者の回答は60%を割っています。これは、児童と職員は「自分の考えを書いたり話したりする」という項目だったのに対し、保護者は「発言」のみの項目

であったからではないかと考えます。学校では、授業で友だちと話し合う時間を設けたり、集会活動において児童の発言の時間をとったりして、自分の考えを話せる場を作ってきました。

自分の考えを表現することは、これからの時代に求められている力の一つです。話すことはもちろんですが、書くことで考えを表現することも大切です。今後も、話したり書いたりして自分の考えが表現できるような指導を継続してまいります。

2 読書について



	貸出総数	一人当たりの冊数
令和元年度	42,550	271
平成30年度	30,617	193
平成29年度	32,173	192

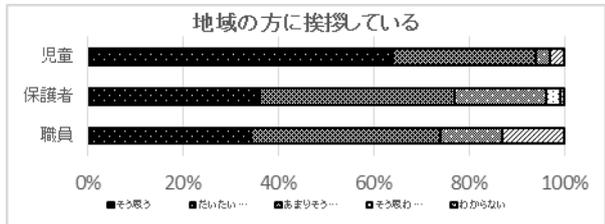
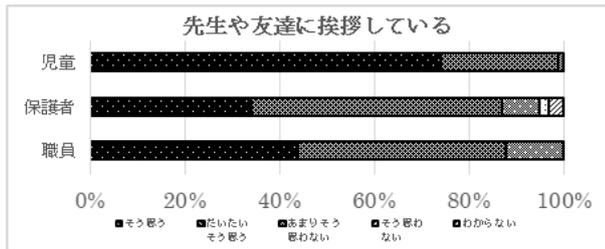
児童・職員の80%以上が「進んで読書をしている」と回答しているのに対し、保護者の割合が低くなっています。これは、児童・職員には「学校や家で」という項目であったのに対し、保護者は「家で」という項目だったからだと考えられます。

学校では、朝読書や授業時間内での図書館利用などを通して、児童が読書する時間を取っています。また、図書袋を毎日持ち帰ることを促し、家庭学習に読書を取り入れたり親子読書デイを設けたりして、家庭での読書を勧めています。その結果、本年度の貸出総数及び一人当たりの平均冊数は、昨年度より増加しました。

毎日、図書袋を持って嬉しそうに図書館に行ったり、図書館から戻るとすぐ教室で借りてきた本を開いたりする児童の姿が多く見られます。これからは児童がさらに本に親しめるよう、学校でも声がけや支援をしていきます。

保護者の皆様も、家庭での読書時間の確保や、親子読書にご協力いただくようお願いいたします。

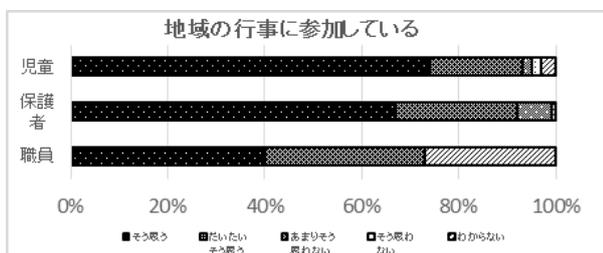
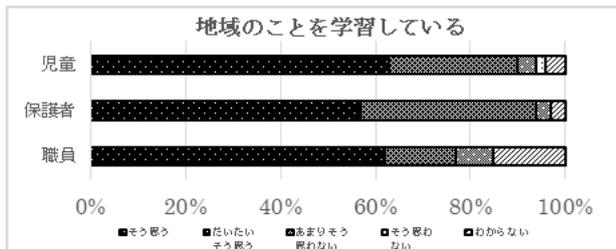
3 あいさつ



あいさつについては、児童90%以上、保護者80%以上ができていますと回答しており、職員の評価も昨年よりよくなっています。本年度は、年度当初に全校であいさつのし方を確認したり、児童会を中心に「あいさつ運動」を進めたりしてきたことなどから、自分から先にあいさつをしたり、あいさつの声が大きくなったりした児童が増えました。

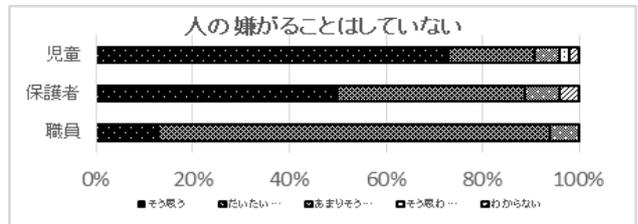
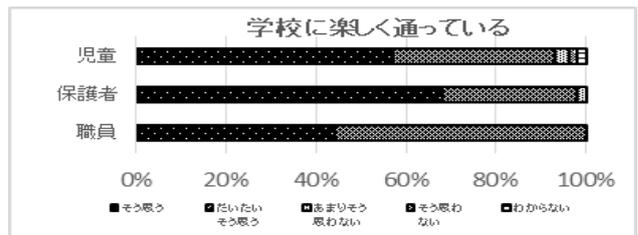
あいさつは、コミュニケーションの基本であり、相手を大切にすることにもつながります。学校ではあいさつの大切さや、あいさつのし方についてさらに指導していきます。ご家庭でもお子さんとあいさつの大切さについてお話しいただくようお願いいたします。

4 地域との関わりについて



児童・保護者の90%以上が、「地域のことを学習している」「地域の行事に参加している」と回答しています。本校の児童は、コミュニティスクールをはじめ多くの地域の皆様に支えられています。また、学校では「ふるさと更級」についての学習を多く取り入れ、「ふるさと更級」を愛する児童を育てようと努めています。今後とも、多くの地域の皆様の目で児童を見守り育てていただきますようお願いいたします。

5 人権意識について



児童・保護者・職員の90%以上が、「学校に楽しく通っている」「人の嫌がることはしていない」と回答しています。しかし、少数ではありますが、「学校へ楽しく来られていない」「人の嫌がることをしてしまった」と回答している児童がいます。

学校に楽しく来られることは、児童の人間関係の安定や学力の向上とも大きな関わりがあります。すべての児童が安心して登校でき、居場所のある学校づくりに、さらに努めていきます。

また、「人の嫌がることをしたことがある」と回答している児童がいることを受け止め、さらに児童の様子をよく見るように努めるとともに、ご家庭とも連携して、児童の気になる言動を素早く捉え、その場、その時にきちんと指導していくことを、今後も続けていきます。

6 保護者の皆様からのご意見

- ・学年関係なく、仲が良くっていいと思う。
- ・それぞれの行事子どもたちが自主性をもって取り組んでいて感激した。子どもたちの行事を通して、地域が一つになれることが素晴らしい。
- ・縄文まつりは地域の方も楽しみにしている行事なので、これからも子どもたちに盛り上げてほしい。
- ・安全パトロールの方にあいさつができていた子がほとんどだが、元気がない子もいるので、大きな声であいさつができるといいなと思った。

以上、保護者の皆さんからいただいたアンケート、ご意見をまとめました。ご協力、ありがとうございました。すべてのアンケート結果をご報告していませんが、その他のことにつきましても結果を職員で共有し、指導すべき内容については適切に指導しながら、今後に生かしていきたいと考えています。

これからも、児童が来たいと思える学校づくりを目指し、また、学力を高め、健やかに成長し、ふるさと更級を一層愛する児童を育てるために、指導を重ねて参ります。

今後も、さらなるご支援をよろしくお願いたします。

